

テーマ：「しっかりしてや！ 商店街 !!」(2/28, 3/1 放送分)

井原・村上 しっかりしてや！ 商店街 !!

稲村 皆さん、こんにちは。尼崎市長の稲村です。

さて、冒頭に元気のいいおじさま達の声が聞こえましたが、あ、「おじさま」は失礼かな？

井原 「おにいさま」でお願いいたします。

稲村 はい、わかりました。今日はお二人の「おにいさま」と一緒に、番組を進めていきたいと思っています。

では改めまして、ゲストの「おにいさま」方をご紹介します。

まずは、尼崎中央五丁目商店街振興組合 理事長の、井原 勝さんです。こんにちは。

井原 こんにちは。中央…。

稲村 いつもお世話になっています。

井原 こちらこそ、お世話になっております。中央五番街の井原です。よろしくお願いいたします。

稲村 よろしくお願ひします。

そしてお二人目は、塚口商店街振興組合の理事長、村上 康憲さんです。こんにちは。

村上 こんにちは。塚口商店街の村上康憲です。

稲村 はい。

村上 よろしくお願ひします。

稲村 よろしくお願ひいたします。

さて、冒頭で「しっかりしてや！ 商店街 !!」と活を入れていたのは、商店街振興組合のお二人、商店街の関係者ご自身だったんですね。

今、市内の商店街では、色んなイベントが開催されていて、どこも元気でがんばっていらっしゃるんだな、とお見受けしていましたが、井原さん、現状、この「活入れ」、やっぱり必要なんでしょうか？

井原 そうですねー。私のいます「中央五番街」を含めた、「中央商店街」と「三和商店街」は、中心市街地の、市内一の繁華街と言われていますが、やはり、お客さまが少なくなっているのが現状ですね。

稲村 阪神尼崎駅から出屋敷駅にかけての、この尼崎が誇る繁華街。いつもね、阪神タイガースの応援で有名ですけども、やっぱり厳しい現状があると。

井原 そうですね。

稲村 村上さんの「塚口商店街」の方はいかがですか？

村上 「塚口商店街」は、阪急塚口駅の北側にありまして、古くからある店と、新しくできたお店がうまく共存しておりますが、全体的な集客となると、やはり厳しいですね。

稲村 そうですか。オシャレな飲食店が多い塚口でも、まあ楽観はできないということですね。

これからさらに、人口が減っていく時代を迎えます。

井原 そうですね。特に名神以南の市の南部では、本当に子供さんが減ってきたと実感しています。

あとはやはり、生活環境の変化でしょうか。コンビニや大型ショッピングセンターがどんどん増えて、やはりそこは便利ですので、近所のコンビニ等でお買い物をすませたり、週末には、大型ショッピングセンターでまとめ買いするようになってきて、商店街には段々、足を運ばなくなっているのが現状ですね。

稲村 そうですよ。

また、私もたまに利用するんですけども、最近インターネットで「通信販売」って言うんですかね、そういうふうにお買い物する人も、増えていますよね。

井原 そうですね。私自身も、よくネットで買い物します。

稲村 やっぱりそうですか。

井原 はい。

そのような変化を受けまして、我々「商店街」は、これから21世紀、生き残れるのか、それとも廃れてしまうのか。本当に今が正念場です。

村上 塚口商店街は「地域コミュニケーションの場」という役割も果たしておりますが、塚口商店街の飲食店は女性の店主が多いのですが、どの店もアットホームな雰囲気、常連客をものすごく楽しませておりますので、これも大事なことです。

稲村 そうですよ。

ま、ネットやコンビニの買い物、「欲しいものを手に入れる」という意味では非常に便利ですけども、ご近所さんが顔を合わせて会話を楽しむというような、そういう「場」という機能は無いでもんね。

井原 そうですね。そこで、私たち商店街一念発起しまして、新たな取組みを始めることにしました。

稲村 新たな取組み！ それは、どのようなものなんでしょうか？

村上 このたび、市内の5つの商店街連携による「尼崎商店街新聞」を発行することに、なりましたんです！

稲村 「尼崎商店街新聞」ですか！

5つの商店街と言いますと、2つはもちろん、井原さんのいらっしゃる「尼崎中央五丁目商店街」、そして、村上さんの「塚口商店街」ですよ。

井原・村上 はい、そうですね。

稲村 あとの3つは、どこの商店街なんでしょうか？

井原 はい、清水寿雅さんが理事長を務める「杭瀬栄町EAST商店街」と、辰川晴彦さんが理事長を務める「立花商店街」、そして峯松完治さんが代表理事を務める「立花ジョイタウン商店街」の、合計5つです。

稲村 私は立花駅のすぐ近くに住んでいるので、地元のやつも入って嬉しいなと思うんですけども。

この「杭瀬栄町EAST商店街」、これは阪神杭瀬駅北側にある商店街ですよ。日本で最初に英語の商店街名を取り入れた所だと、お聞きしています。

また、私の地元なんですけれども、JR立花駅をはさんで北側の「立花商店街」と、南側の「立花ジョイタウン商店街」が連携されて、今回取り組まれているということなんですよ。

村上さん、この5つの商店街が連携することになったきっかけというのは、何かあったんですか？

村上 井原さんの呼びかけで、普段から気心の知れた5つの商店街が集まることになりました。

稲村 なるほど。井原さんがつなぎ役だったんですね。

井原 はい。

稲村 この「尼崎商店街新聞」。今、私の手元にもあります。タブロイド版のフルカラー 8 ページですよ。なんかとってもポップな、元気な感じなんですけれども、どのような記事が掲載されているのか、ラジオをお聞きの皆さんにも、少し内容を紹介していただけますか？

村上 はい。まずは、この 5 つの商店街が元気であれば、ということをして PR をするため、各商店街の自慢するお店を紹介しております。

稲村 飲食店だけじゃなく、本屋さんやお米屋さん、そして薬草の専門店まで、本当に色々なお店が紹介されていますね。

井原 はい。そして、最終ページには「メッセージ募集」のコーナーを設けておりまして、お客さまから各商店街に対する「しっかりしてや」というメッセージや、「こんな風にしてくれたら買い物に行くのに」というアイデアなどをご記入いただき、私どもにお寄せいただくようにしております。

稲村 そうそう。これが一体何なんだろうと置いていたんですよ。さっきのインターネットとの違いと言いますか、こうやって双方向でね、意見を交換しようという、この「商店街、しっかりしてや！」のメッセージをお客さんから募集する、すごく画期的な取り組みだと思います。

井原 はい。やはり商店街はお客さまとのコミュニケーションの場として、お客さまに喜んでもらえる商店街を目指して、お寄せいただいたご意見をもとに、できるところから少しでも改善していこうと考えております。

この新聞は、参加商店街の各店舗がお客さんに手渡ししているほか、昨年 12 月 15 日から、市内全世帯 196,700 世帯に配布しております。

現在、市内外から約 250 通のメッセージが寄せられております。

稲村 さっそくすごい反応があるってということなんですね。

井原 はい。

稲村 どんな内容がきているんですか？

村上 すばらしいメッセージいただいたんですが、お叱りのメッセージから、お褒めのメッセージから、「空店舗あれば出店したい」というようなメッセージもございました。

稲村 「尼崎商店街新聞」発行された 5 つの商店街、つい先日、さらに大きなイベントが開催されたんですよ。

井原 はい。皆さま方から寄せられました「しっかりしてやメッセージ」をもとに、今後の商店街のあり方をディスカッションする「尼崎商店街サミット 2015」を、2 月 27 日 金曜日の午後 2 時から尼崎商工会議所 1 階の特設会場で開催しました。

村上 その様子は、FM あまがさきの人気番組「瓶太・奈緒子のおしゃべりワールド」の特別番組として生中継されました。

井原 何といたしても、かつてライバル同士だった 5 つの商店街が一堂に会し、様々な意見交換ができたことは、本当に有意義なことでした。

稲村 画期的な企画ですよ。

私も、サミット共同宣言の「見届け人」ということで、参加させていただいたんですけども、活発な議論がかわされ、会場も大いに盛り上がっていました。

さて、井原さん、「尼崎商店街サミット 2015」、無事に終わりましたけれども、今後の展望をお聞かせいただけますか

井原 はい。ご意見のなかには、「商店街、こんなことになってないで」という厳しいご意見やら、「昔から商店街のファンです」といった、とても心温まるお言葉もいただきまして、やはり商店街、これからも生き残っていくには、皆さま方の声を十分に尊重して、真摯にそれに耳を傾け、これからの商店街を考えていかんとあかんあと、つくづくと思い知らされました。

これからも頑張っていきますので、よろしく願いいたします。

稲村 はい、ありがとうございます。村上さんは、いかがですか？

村上 塚口商店街の場合は、非常にすばらしいメッセージいただきましたので。「塚口商店街はどこにあるか？」とか、また、「ポイントカードを出してもらいたい」とか、色々、そういう修正箇所を非常に指摘されましたので、皆さん方とともに、会員と一同になって頑張りますので、今後ともご指導のほど、よろしく願いしたいと思います。

稲村 はい。二人からまた、色々なメッセージ、今後に向けての思いを語っていただきました。

今日このラジオで話してきましたように、やっぱり、時代や私たちの生活環境、ずいぶん変わってきていますので、それにしっかり対応して、みんなに身近に必要とされる商店街に、ぜひひなっていってもらいたいなと思っています。

やっぱり商店街が元気だと、まち全体が元気になります。

そしてこれからは、安心・安全という面でも役割が大きいんじゃないかなと思っておりますので、一緒に頑張っていきたいと思います。

井原さん、村上さん、本日はどうもありがとうございました。

井原・村上 ありがとうございます。

稲村 それではこの辺でお別れです。次回の放送もお楽しみに。

以 上